

「体育原理研究」第32号目次（平成14年3月31日発行）

研究論文

- ・近代オリンピック開会式にみる文化プログラム—その歴史的展開と目的性—（舛本直文）
- ・体育学における人間学的議論とその起点としての人間学的—形式—Doepp-Vorwld, H. の教育学的到達点から—（阿部悟郎）

研究資料

- ・現代中国の教育の問題点と「身体教育」の可能性—毛沢東の身体文化論をめぐって—（劉新華, 樋口聡）
- ・現代中国における体育教員養成制度の問題点—「体育実技」の位置づけをめぐる中日比較を通して—（林陶, 樋口聡）
- ・体育学における神経生理学的研究に関する実証的検討（奈良雅之）

研究報告

<定例研究会より>

- ・ポロ競技文化における精神性（森美香）
- ・プラトンの体育論におけるアレーテを巡る問題—身体健康とは何であったのか—（三原幹生）
- ・企業スポーツから総合型地域スポーツクラブへ（左近充輝一）
- ・スポーツと環境問題の現在（近藤良享）

<夏合宿研究会より>

- ・Terry Orlick: EMBRACING YOUR POTENTIAL (1998) を読む (2)（石川旦）
- ・「体育実践」「コーチング実践」の比較検討（久保正秋）

<日本体育学会第52回大会専門分科会シンポジウムより>

- ・大学体育の思想—人間存在をみつめる教養教育に向けて—
- ・提案趣旨（舛本直文, 深澤浩洋）
- ・大学体育論議を振り返る（小林勝法）
- ・ヒューマニティな身体観に根ざした教養教育—実技における展開—（徳山郁夫）
- ・ヒューマン・ニーズを挑発するスポーツ教育—講義における展開—（嵯峨寿）
- ・討論のまとめ（深澤浩洋）

事務報告（分科会事務局）